

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	核家族化と共働き世帯の増加によって、学校以外の場所で孤立する子どもが増えている。放課後や週末等に、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することで、地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する必要がある。	子どもにとって安全な居場所と担い手の拡大に向けて、関係団体と協議する。また、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけて事業実施箇所や事業実施回数を拡充し、子どもの参加機会を増やす。	放課後等子どもの居場所事業を3箇所で開催し、地域の人たちの見守りの中で子どもたちが自主学習、体育遊びや文化活動等を行った。	放課後や週末の時間を有効に活用し、様々な体験や学習を通じて多様な年代や地域の人々と交流する児童、生徒が増える。	放課後等子どもの居場所事業の開催日数。	280	222	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。近年、放課後児童クラブを活用する子どもの数が増加傾向にあるため、放課後子ども教室を利用する子どもの数も増加している。増え続ける子どもの数に、余裕教室や見守る大人の数が追いついていない現状がある。今年度は課題に対応しきれず活動日数が制限された。このような活動の状況を踏まえて、関係団体と協議し、本事業の拡充に向けて地域や学校に働きかけていく必要がある。